

February & March, 2013

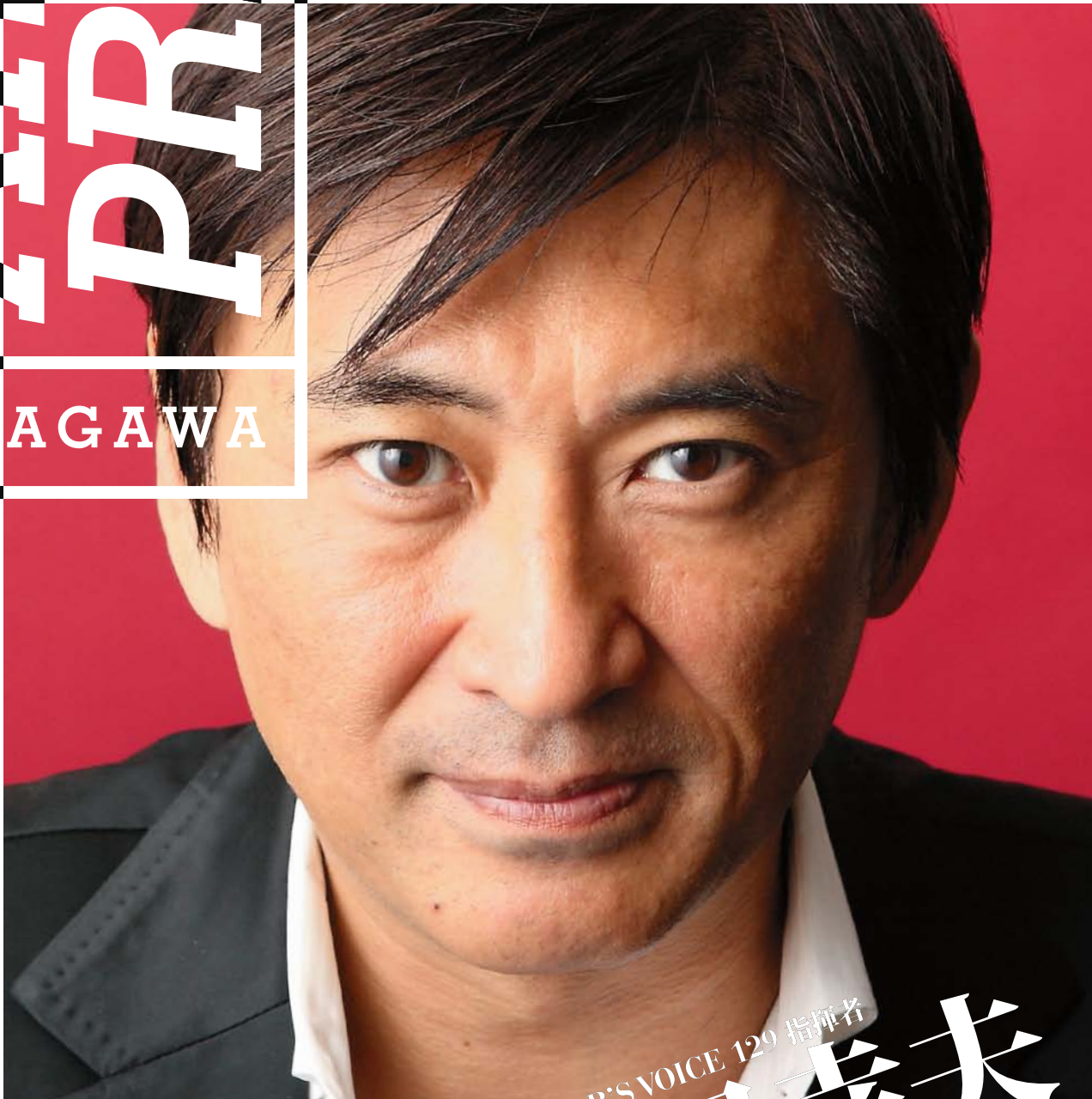
CREATOR'S VOICE

# 藤岡幸夫 2 & 3

神奈川芸術プレス Vol.110

# ARTS PRESS

## KANAGAWA



写真・大野純一

CREATOR'S VOICE 129 指揮者

# 藤岡幸夫

いま、身近にある音楽を大切に  
『クラシックな休日を♪in 音楽堂』に出演

KAAT×地点 2本立て上演  
『駈込ミ訴へ』『トカトントン』(原作:太宰治)  
横浜・川崎エリアに注目!  
神奈川県民ホール『椿姫』  
KAAT神奈川芸術劇場『隅田川二題』

# 藤岡幸夫

Sachio Fujioka 指揮者

## いま、身近にある音楽を大切に

### 『クラシックな休日をも in 音楽堂』に出演

2012年9月に初演された一柳慧のオペラ『ハーメルンの笛吹き男』の鮮烈な演奏が記憶に新しい指揮者・藤岡幸夫が、今春、神奈川県立音楽堂の『クラシックな休日をも in 音楽堂』に出演する。慶應ボーイ時代の横浜での思い出から、首席指揮者を務める関西フィルについて、力を注ぐ新しい音楽への思いなど、「藤岡幸夫のいま」を熱く語ってもらった。

#### ●オーケストラに育てられて

—関西フィルの首席指揮者として13年目を迎えますね。

いまや「藤岡といえば関西フィル」と言われるほどになりました。年間50回近いコンサートを指揮していますし、楽団員さんとも言いたいことを言い合い、喧嘩もできる関係です。指揮者はプレイヤーと議論しないと勉強できないことがたくさんありますから、本当にいい経験をさせてもらっています。

—お若いときから、日本フィル、BBCフィル、マンチェスター室内管など世界のオーケストラと付き合い合っていますね。

僕ほどオーケストラに育てられた指揮者はいないのではないかと思います。オーケストラなしで僕の人生は語れない。そしてひとつひとつのオーケストラとの付き合いが濃厚です。

戦後日本のオーケストラ界を率いてきた故・渡邊暁雄先生の内弟子時代は、オーケストラのリハーサルに付いて行って聴かせてもらっていましたし、大学を出て日本フィルの指揮研究員であった3年半は、年間ほとんどの日数を楽団員さんと一緒に過ごし、たくさんのことを教えてもらいました。ちょうどその頃イギリスから来日したサー・チャールズ・グローヴスのアシスタントをする機会があり、薦められて留学することになったんです。行って2年目にロシア人指揮者のロジェストヴェンスキーの代役でBBCフィルを指揮したことからこのオーケストラのアシスタントになり、年間20回以上のコンサートの機会をいただきました。指揮界の巨匠ショルティに気に入られて、BBCフィルを振る彼のアシスタントをしたのもその頃です。感激したのは、どのオーケストラも本気になって僕を育ててくれたことです。指揮



藤岡幸夫公式HP: <http://www.fujioka-sachio.com>

聞き手 山田美也子(文化キャスター・エッセイスト)  
構成 荒井恵理子 撮影 大野純一

者は実際にオーケストラの本番を指揮しなければ勉強ができませんから、これだけの機会をいただくことができたのは、本当に恵まれていたと思います。

### ●町ごとの文化発信を

—関西は公的な文化予算への締め付けが厳しく、苦勞されることも多いのではと。

就任当初は大変でしたが、関西フィルはこの10年は黒字経営です。平均入場者数は9割を越えています。ありがたいことに、「藤岡と関西フィルに毎年来てほしい」と声をかけてくださる市町村が20~30あるんです。夢は、全国をまわることでできる実力と人気をもつことですね。

ヨーロッパに行ってわかったのは、一極集中ではダメだということです。ヨーロッパの先進国は首都以外の町がそれぞれ独自のステイタスをもっている。なんでもかんでも東京集中ではダメになるのではないかと——関西フィルと出会ったのは、そう感じていたときでした。この出会いは大きかった。いまでは、神様が僕を指揮者にしてくれたのは、「地方オーケストラと本気で付き合う」という使命を与えるためだったのではないかと考えています。

地方オーケストラと本気で付き合うこと、それはすなわち、クラシック音楽のすそ野を広げることにつながります。クラシック音楽の愛好層が広がってたくさんの方が何度も来てくだされば、毎回同じ曲ではなく、新しい音楽や凝ったプログラムなど自分のやりたい音楽ができる。頂点をめざすためにも、すそ野を広げることが重要だと思っています。

—ヨーロッパは、町それぞれにホールや劇場があって、そこにオーケストラがいる。遠くまで行かなくても自分たちの町で音楽を楽しむことができますものね。

日本もそうなるべきだと思います。いま神奈川フィルが存続の危機にありますよね。あのオーケストラは神奈川の宝です。いま、とても高いレベルまで育ててきたオーケストラを誇りに思っ、自分たちのものとしてぜひ大切にしていきたい。心からそう願います。

### ●同時代の音楽の魅力を伝えたい

—藤岡さんのご活動の柱として、積極的に取り組まれている現代音楽の演奏がありますが、そのことを。

暁雄先生が残してくださった教えのひとつに、「われわれ音楽家や、音楽に携わる人間はすべて、過去の作曲家の恩恵を受けているのだから、その恩返しをいまの作曲家にしなければならない」という言葉があります。同時代の音楽で、「将来愛される作品になる」と自分が信じるものを紹介していくのは、演奏家の義務であり、自分のライフワークだと思っています。

僕の場合、作曲家との付き合いも濃厚です。最初が吉松隆氏。イギリス留学中に彼の曲をレコードで聴いて感動したのがきっかけで、「人生の半分を吉松隆に懸ける!」と決意しました。その後ロンドンのプロムスでデビューして、シャンドス・レーベルから「何でも好きなものを録音してよい」と言われたとき、「ヨシマツタカシを振らせてほしい」と言ってレコーディングしたのがシンフォニー2番「地球(テラ)にて」です。それ以来、NHKの大河ドラマ『平清盛』のサウンドトラックに至るまで、密にたっぷり付き合わせてもらっています。

続く出会いが柳慧先生。ピアノ協奏曲第4番「JAZZ」を初演させていただいたのがきっかけで、先生に惚れちゃったんですね(笑)。それからすごい勢いで演奏させていただいています。

—柳さんのピアノ協奏曲は、今回の「クラシックな休日」でも披露していただけます。

現代音楽というと、コンサートの前半に申し訳程度にやったり、「全曲初演」のように固めて演奏したりされますが、それでは魅力がしっかり伝わらない。僕のプログラミングは素敵ですよ。新しい作品にスポットが当たるように、かつ曲の良さが引き立つように、カッコいい人気曲と組み合わせますから。今回の組み合わせはガーシュウインのオペラ「ボギーとベス」による有名な「サマータイム」を含む組曲です。山下洋輔さんの即興演奏もありますし、クラシックに馴染みのない方にも絶対楽しんでいただけるプログラムです。土曜の午後、ぜひ素敵な時を共に過ごしましょう!



藤岡幸夫(指揮者)

Sachio Fujioka

1962年東京生まれ。幼少よりピアノ、チェロを学ぶ。故渡邊暁雄の最後の愛弟子。サー・ゲオルグ・ショルティのアシスタントを務める。

慶應義塾大学文学部卒。日本フィル指揮研究員を経て90年に英国王立ノーザン音楽大学指揮科に入学。92年「サー・チャールズ・グローヴス記念奨学賞」を特例で受賞。94年ロンドンの夏恒例の名物「プロムス」にデビューし大成功を収めた後、海外オーケストラに数多く客演。マンチェスター室内管弦楽団首席指揮者、日本フィルハーモニー交響楽団指揮者を歴任、現在関西フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者。同楽団とは毎年40公演以上を指揮し13年目のシーズンを迎え、その一体感溢れる演奏は聴衆を魅了し高い評価を得る。英シャンドスと契約、BBCフィルとCD8枚をリリース。NHK大河ドラマ「平清盛」の劇中音楽の指揮を務めるなど、活躍の場はいとまがない。

2002年度渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。

### クラシックな休日を♪in 音楽堂

5月11日(土)15:00開演

神奈川県立音楽堂

指揮:藤岡幸夫 ピアノ:山下洋輔

管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団 他

プログラム:

ガーシュウイン/

交響組曲「キャットフィッシュ・ロウ」(「ボギーとベス」より) 他

—柳慧/ピアノ協奏曲第4番「JAZZ」(2009年音楽堂初演)

一般4,500円 特別ペア券8,000円 学生(24歳以下)2,000円

一般発売:1月29日(KAme先行:1月26日)

### オープンシアター2013

#### 音楽物語 サン=サンス「動物の謝肉祭」

6月2日(日)11:00開演/14:00開演

神奈川県民ホール大ホール

指揮:藤岡幸夫 演出・構成:田尾下哲

管弦楽:神奈川フィルハーモニー管弦楽団

一般発売:3月10日(KAme先行:3月8日)

インターネット予約(24時間対応)

URL <http://www.kanagawa-ongakudo.com/>

チケットかながわ ☎045-662-8866(10時~18時)

## COLUMN

今月の小コラム

## 藤岡幸夫さんにQ&A

—慶應時代、中学から大学まで日吉に通っていた頃、横浜に甘い思い出があるとうかがったのですが。

音楽堂と県民ホールは、しょっちゅうデートで行っていました。詰襟の制服で、音楽堂への坂道をセーラー服の彼女と手をつないで歩いたのもいい思い出です。県民ホールも元町、中華街、港とデートスポット満載ですからね。当時、元町にオフコースの小田和正さんの実家の喫茶店があって、彼女とよく行ったものです。

—コンサートが横浜デートの一環だったのですね。ヤマカズさん(指揮者の故・山田一雄氏)が好き

だったので、もちろん一人でも神奈川フィルのコンサートに行きましたし、学校をさぼって、コバケン先生(指揮者の小林研一郎氏)のリハーサルを見に行っていました。楽団員さんたちが可愛がってくれて、食事に連れて行ってくれたりね。楽しかったなあ。

—いまは関西拠点の藤岡さんにとって神奈川とは?

高校・大学は横浜に近かったし、大学時代は海が好きでウィンドサーフィンやヨットをやっていたから、よく湘南に遊びに行っていました。神奈川は僕にとって青春の場所。ここでコンサートができることには特別な思いがあります。

# KAAT神奈川芸術劇場×地点共同制作 2本立て上演 『駈込ミ訴へ』『トカトントンと』(原作:太宰治)

対談 三浦基(演出家)×山本理顕(建築家)

KAATと地点の共同制作は、2011年『Kappa/或小説』(原作:芥川龍之介)、12年『トカトントンと』(原作:太宰治)と、KAATのNIPPON文学シリーズに強い印象を残してきた。そして13年3月、太宰治の短編小説を原作にした新作『駈込ミ訴へ』と、『トカトントンと』再演の2本立て上演を行う。イギリス、ロシアなど海外での活躍も目覚ましい演出家の三浦基と、前作『トカトントンと』で初めて舞台美術に挑んだ建築家の山本理顕との対談を収録。KAATを舞台に再びタッグを組む二人。意外性の化学反応は繰り返されるのか。



2012年2月公演『トカトントンと』より 撮影:青木司



撮影:松本久木

## 三浦基 (みうら・もとゐ)

演出家。1973年生まれ。桐朋学園大学で木村光一、蜷川幸雄らに学び、青年団で平田オリザの演出助手等。99年より2年間、文化庁在研でパリ滞在。帰国後、「地点」の活動を本格化。チェーホフ作『ワーニャ伯父さん』『桜の園』モスクワ公演、シェイクスピア作『コリオレイナス』ロンドン公演で成功をおさめるなど、世界的に活躍。著書「おもしろければOKか?現代演劇考」(五柳書院)。京都造形芸術大学客員教授。



## 山本理顕 (やまもと・りけん)

建築家。1945年北京生まれ。71年東京芸術大学大学院修了。横浜を拠点に国内外でも公共建築や集合住宅の建築を多く手掛ける。横須賀美術館、埼玉県立大学、東雲キャナルコート、福生市庁舎、他作品多数。著書「新編 住居論」(平凡社ライブラリー)、「RIKEN YAMAMOTO 山本理顕の建築」(TOTO出版)、「地域社会圏主義」(INAX出版)等。横浜国立大学大学院客員教授、日本大学特任教授。

## 『駈込ミ訴へ』『トカトントンと』公演情報

KAAT×地点共同制作 2本立て上演『駈込ミ訴へ』『トカトントンと』(原作:太宰治)

演出・構成:三浦基 美術:山本理顕

3月7日(木)~26日(火) KAAT神奈川芸術劇場(大スタジオ)

全席自由・入場整理番号付

一般3,500円 2演目セット券6,000円 他 ※プレビュー公演のみ一般2,000円

### ■出演

安部聡子 石田大 窪田史恵 河野早紀 小林洋平 青戸知(駈込ミ訴へ) 庸雅(トカトントンと)

※詳細は中とじのHN1(KAATの公演情報)ページに掲載

KAAT×地点 特設ホームページ <http://chiten-kaat.net/>

—2012年に上演された『トカトントンと』が、お二人にとって初めての共同作業=出会いとなりました。

**山本** | 私は舞台の仕事も、演劇の稽古を見たのも『トカトントンと』が初めて。なので、前は建築を考えるように舞台について考えました。建築にも実は登場人物がいて、住人や利用者、行政など、様々な人たちを想定して建築を考えます。その点で、建築家は常に登場人物は何者か、という解釈を多方面から求められているんですね。

ところが、演劇では登場人物はまず決まっています。観客が舞台を覗く方向も多くの場合は一方向だけです。基本的に登場人物と観客は向かい合っている。それが建築とは全然違って、こうした形式がはっきりした空間は作ったことがないので、その意味で非常に面白かったです。

**三浦** | 理顕さんは最初の打ち合わせから、風で揺れる無数のパネルのアイデアをうれしそうに出してきて、でも実はほぼそれ以外にネタを持っていなくて、「一発勝負の人だな」と思いました(笑)。それこそ多少舞台を経験していると、パネルを背景全面に飾る場合、舞台袖や役者の出入りをどうするかって、実際的に考えちゃうものだけど、全くそうではなかったから、すごくびっくりしましたね。でもそのおかげで「風」を一つのテーマにしようと、すぐに決まりました。

—パネルの舞台装置案から「風」をテーマにしようと考えられたのですね。

**山本** | 最初はパネルの折り方でいろんな模様が出せるかなって思ってたんだけど、実験してみたらできなくて(笑)。そのうち、三浦さんがパネルにもっと風を当てるということをやり始めて、風そのものが一つの表現になるように変わっていったのです。

**三浦** | 単純だけど、野外劇で風が吹いて衣装がひらひらすると、演出家としてはうれしいんだよね。理顕さんの装置だと、表現としての「風」を任意に稼働することができる。それが面白くてやる気がむくむくとして上がってきて。装置がいいヒントになりました。

で、僕の方からも「舞台の床が奥に向かって下がっていく逆傾斜をやってみよう」と案を出して、大まかな舞台装置の骨格が決まったんです。



**山本** | 三浦さんと話す中で、役者の足元を見えなくする逆傾斜のアイデアができた時はちょっと興奮しました。あの傾斜の深さ、角度の強さが、空間としてすごくうまくいったと思う。

**三浦** | それと、僕の勝手な思い入れを込めて言うと、「日本は戦後同じような建物ばかり建ててきたけれど、それはもう破綻したんだ」という理顕さんの建築観と、太宰文学の持つ批評性が重なったんですよね。でもまあ、理顕さんのアイデアは無理難題でしたよ。よく解決できたなど。だから一番作業をしていたのは、ここの劇場の舞台技術スタッフだと思うよ(笑)。他所では絶対できないことをやっていたと思う。そこはKAATが自信を持っていい。

**山本** | 舞台に限らず建築の設計の場合も、建築家っていつも遠い外側にいるんだなって改めて思いました。

例えば住宅を作る時に、施主が困っていることを同じ視線で一緒に体験したら、とりあえず解決策は見つかるかもしれない。でも実は、その問題は社会に根ざしているかもしれませんよね。となると住宅1軒の問題じゃなくなってしまって、地域社会全体について考えることが必要になってくるわけです。その点で、建築家が気づくべき現代社会の課題は、遠くからでないといけないのではないかと。

同じことが三浦さんにも言えるのかもしれないね。作品に没頭するのではなくて、どこか外側において演出している。だから僕が提案したことに対して、単なる与条件みたいな感じで考えられるのではないかな。



横須賀美術館(神奈川県横須賀市) 設計:山本理顕

**三浦** | そうね、アイデアは自分が思いついたものじゃない方がうまくいくことが多い。条件だけ整えて、あとは稽古で考えていく。その点、僕は演出家としても珍しいタイプかもしれない。

一新作『駈込ミ訴へ』と『トカトントン』再演は、どちらも太宰治原作による2本立て上演です。

**三浦** | 『トカトントン』がうまくいったのは、舞台装置が作り出す「見えない」「見えづらい」ということを手がかりに、隠れテーマとしての天皇制を抽象的な音と敗戦直後の風景で表現できたこと。そうすると、次は西洋文化と日本の近代の問題なんじゃないかと。太宰には「駈込み訴え」という短編小説があって、ユダがキリストを裏切るという聖書のエピソードがモチーフになっている。これを聖書や賛美歌も引用して、キリスト教をテーマに舞台化します。

理顕さんへの発注として、『駈込ミ訴へ』には教会を出してほしい。天皇制とキリスト教ってこんなに違うんだと分かるような2作品にしたいですね。

**山本** | 教会かあ…。まあでも僕はできるだけ気楽にやりますよ(笑)。

**三浦** | お客さんには、今回は2演目を用意するので、とにかくせつから2本とも見てほしい。その中で総合的に有機的に、いろんなことを考えてもらえれば。あとね、両原作とも短編小説だから、芝居を観る前に読んできた方がいい。どういう風に舞台化するのかって楽しめると思う。まあ、ドストエフスキーを全部読んでこいって話じゃないから(笑)。

**山本** | 装置にもぜひ期待してほしいですね、教会がどんな形になって出てくるか!

取材・文 熊井一記(神奈川県芸術文化財団・広報)

COLUMN  
今月の小コラム

## キリスト エッセイ「祖父と基督」

三浦基  
(演出家、地点代表)

突然ですが、私の名前は基です。祖父が名付けた名前<sup>もとい</sup>で、基本を大切にしようという思いが込められていると聞いています。私の祖父は明治生まれで96歳まで<sup>かしくさく</sup>夔夔としていた教育者でしたが、クリスチャンでもありました。

祖父の父親は秋田県<sup>おまがり</sup>の大曲というところで神主をしていたそうです。36歳で洗礼を受けた祖父が、日本の片田舎で教会におおびらに通えるような立場ではなかったことは容易に想像がつきます。ですが私が知る晩年の祖父は、長男の住む相模原の家に住み、毎週教会へ通う敬虔なクリスチャンそのものでした。その祖父の愛情を、孫である私は一身に受けていました。私がどこに住んでいようと毎月決まって達筆の手紙が届き、そこには年金の一部だったろう新札の一万円が必ず入っていました。祖父が死んだ時、私はパリで研修中でしたから、周囲の親戚の配慮もあり、わざわざ帰国するのは祖父の意に反するという事で葬儀には参列しませんでした。ですので、私にとって祖父の死はもう届かない手紙によって実感されるものでした。

さて、今はこんな感傷的な話をしたいのではなく、そんな穏やかな祖父が付けた基という名が、いくら孫の名前であるとはいえ、どうやら基督にちなんでいるらしい、それはどういうことなのだろうか、ということです。もし時間を巻き戻して祖父と話することができるなら、「おじいちゃん、ちょっと大きく出たね?」とたずねてみたいです。

人はなぜ宗教を必要とするのか。太宰治ら日本の近代の文学者が枕元に聖書を置いていたのは、宗教的な必要性というよりは物語の事典としての意味合いが大きかったのでしょう。無論、東

北の片田舎においてのキリスト教がいかに新しいものとして象徴的であったかということはあるにしても。

話は変わりますが、学生時代、彫刻家の飯田善國先生の自宅に食事に招かれたことがあります。彼の絵や彫刻などは当時の私にはまったく不可解で、飯田さんは私にとって「前衛の変なおじいちゃん」でしたが、帰り際におっしゃった最後の一言が今でも忘れられません。

「芸術家でも無宗教はつらい。」

突然口にされた言葉でしたが、戦う芸術家の弱い部分を見つらい瞬間でした。彼が実際どんな宗教を信じていたのか、それがキリスト教だったのか仏教なのか、私には知るよしもありません。

祖父は、基督から一字をとって孫に名付ける明るさ、いい加減さを持っていました。宗教絶対、芸術絶対と言っても仕方がない。人間はしぶとく生きる術を持つのだな、と思います。さて、太宰は宗教と芸術について何を考えていたのか。新作『駈込ミ訴へ』ではそのつらい部分に踏み込みたいと思っています。



三浦基演出『光のない。』(2012年) 撮影:松本久木

## 神奈川県民ホールからのお知らせ k 神奈川県民ホール

### 共同制作 歌劇『椿姫』の制作発表会見が行なわれました。

神奈川県民ホール・びわ湖ホール・東京二期会他による共同制作は、これまで『ぼらの騎士』『トゥーランドット』『タンホイザー』など優れたオペラ作品を上演してきましたが、2013年はヴェルディ生誕200年を記念して、名作『椿姫』を上演します。08年から始まったこの共同制作オペラで、全ての指揮を務めてきた沼尻竜典氏は「今回は東京二期会と藤原歌劇団から、日本を代表する2人のソプラノ歌手をヒロイン役で迎える。これは画期的なこと」とコメント。3月の上演をどうぞお楽しみに。

ヴェルディ作曲 歌劇『椿姫』全3幕

〈イタリア語上演・日本語字幕付〉

3月23日(土)・24日(日)

会場:神奈川県民ホール大ホール

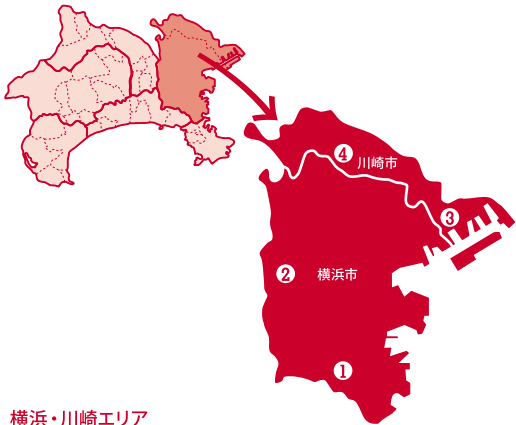
(本誌7ページで公演を紹介しています)



前列左より出演者、安藤赴美子、福井敬、砂川涼子 後列左より、一柳慧(神奈川県芸術文化財団・芸術総監督)、沼尻竜典(指揮)、井上建夫(びわ湖ホール理事長) 撮影:青柳聡

# 横浜・川崎エリアに注目!

アート、流行の発信地として、劇場、ホール、博物館など魅力的なスポット満載のエリアです。  
豊かな自然に触れながら、春の訪れを迎えに行ってみませんか。



横浜・川崎エリア



梅が咲き誇る三溪園(横浜市金沢区)

写真提供:三溪園

\*事前に各施設にお問合せのうえ、お出かけください。

## ① 横浜市栄区民文化センター リリス

JR京浜東北線、根岸線・本郷台駅から徒歩3分。300席のホール。  
2月10日(日)14:00 寺神戸亮&曾根麻矢子デュオ・リサイタル  
〜パッパの見た世界〜  
全席指定3,800円(リリス券3,500円)  
3月23日(土)14:00 リリス・チェンバー・オーケストラVol.2  
出演:高木和弘(コンサートマスター)、  
リリス・チェンバー・オーケストラ  
全席指定3,500円(リリス券2,800円)  
お問合せ:☎045-896-2000

## ② フィリアホール

東急田園都市線、青葉台駅から徒歩3分の音響特性を備えた500席のホール。  
2月15日(金)19:00 JUST ONE WORLDシリーズ  
《ただ一つの世界》「エマニュエル・バユ フルーツ」  
全席指定S席6,500円、A席5,500円  
3月5日(火)11:30 ウィークデーコンサートシリーズ  
《らん・らん・ランチにいい音楽》第26回「福間洗太郎 ピアノ」  
全席指定1,500円(休憩なし1時間の公演)  
お問合せ:☎045-982-9999

## ③ ミューザ川崎シンフォニーホール

2011年の震災で被害を受けて以来、体館を余儀なくされたコンサートホールが、4月にリニューアルオープンする。4月7日(日)の「リニューアルオープン・コンサート」に始まり、川崎市のフランチャイズ・オーケストラである東京交響楽団によるシリーズ、「海外オーケストラ・ウィーク」「パイプオルガン・コンサート」「ミューザの夏」など、充実したラインナップが予定されている。  
お問合せ:☎044-520-0200

## ④ 生田緑地

多摩丘陵の一角に位置する川崎市内最大の都市公園。自然に触れながら、園内の「岡本太郎美術館」(2月9日(土)~4月7日(日))、企画展「第16回岡本太郎現代芸術賞」展開催、「日本民家園」「伝統工芸館」「かわさき宙(そら)と緑の科学館」「藤子・F・不二雄ミュージアム」でアート鑑賞・体験を楽しむことができる。  
生田緑地のお問合せ:☎044-933-2300  
\*休館日について各施設にお問合せください。

### 神奈川フィルハーモニー管弦楽団

定期演奏会 会場:横浜みなとみらいホール  
第287回 2月15日(金)19:00開演  
指揮:金聖響  
マーラー/交響曲第10番嬰へ長調  
(デリック・クック補筆完成版)  
第288回 3月2日(土)14:00開演  
指揮:金聖響  
池辺晋一郎/交響曲第8番(神奈川フィル委嘱作品/世界初演)  
ラフマニノフ/交響曲第2番 他  
各回 \$6,000円 A4,500円 B3,000円  
学生席(B)1,000円 他  
お問合せ:神奈川フィル・チケットサービス  
☎045-226-5107(平日10:00~18:00)  
<http://www.kanaphil.or.jp/>

### 県立神奈川近代文学館

企画展・収蔵コレクション展12  
「添田啞蟬坊・知道展」  
明治・大正のストリート・シンガー  
「金々節」「パイノパイノパイ」など、政治や社会を諷刺する歌をストリート・ライブで世に送り続けた演歌師・添田啞蟬坊と知道親子。当館に寄贈された希少な演歌資料で二人の足跡を紹介する。  
常設展「文学の森へ 神奈川と作家たち」展 第2部 芥川龍之介から中島敦までを同時開催。  
3月2日(土)~4月14日(日) 第2展示室  
\*月曜休館  
一般400円 65歳以上・20歳未満・学生200円  
高校生100円 中学生以下無料  
神奈川県横浜市中区山手町110  
(みなとみらい線「元町・中華街駅」徒歩10分)  
☎045-622-6666 <http://www.kanabun.or.jp/>

### 神奈川県県民局くらし文化部文化課

マゲカル・オープニングトーク  
舞台やエンターテインメントの魅力、楽しさと、神奈川における今後の可能性などを語り合います。  
ゲスト:谷原章介(俳優) 黒岩祐治知事 他(予定)  
2月2日(土)16:30開始 無料(要事前申込)  
会場:KAAT神奈川芸術劇場 ホール  
お問合せ:KAAT神奈川芸術劇場 ☎045-633-6500  
第2弾!和洋/スクランブル発信@小田原  
神奈川フィル×和楽器  
出演:林英哲(和太鼓) 三橋貴風(尺八)  
神奈川フィルハーモニー管弦楽団 他  
2月23日(土)14:00開演 無料(要事前申込)  
会場:小田原市民会館 大ホール  
お問合せ:事務局 ☎045-662-7557

#### 公益財団法人神奈川芸術文化財団 賛助会員

##### 法人賛助会員

株式会社アートエンジニアリング  
株式会社浅岡装飾  
株式会社朝日工業社横浜支店  
アサヒビル株式会社  
株式会社アサヒファシリテス  
学校法人岩崎学園  
株式会社ウォートル  
株式会社エス・シー・アライアンス  
株式会社NHKアート  
株式会社オーチャー  
株式会社勝烈庵  
公益財団法人神奈川県結核予防会  
神奈川県信用保証協会  
神奈川県民共済生活協同組合

株式会社神奈川孔文社  
株式会社神奈川保健事業社  
神谷コーポレーション株式会社  
カヤバシステム マシナリー株式会社  
川本工業株式会社  
かをり商事株式会社  
株式会社共栄社  
株式会社キョウエイ装備  
株式会社合同通信  
香山善夫建築研究所  
コトブキシーティング株式会社  
株式会社さか美  
株式会社ジェイエムアンドカンパニー  
株式会社ジェイコムイースト横浜テレビ局  
財団法人シルクセンター国際貿易観光会館  
鈴鹿かまぼこ株式会社

生活協同組合コープかながわ  
生活協同組合バルシステム神奈川ゆめコープ  
生活クラブ生活協同組合  
株式会社清光社  
株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ  
月島機械株式会社  
株式会社テレビ神奈川  
株式会社東急エージェンシー  
東工株式会社  
東神工芸株式会社  
ナイス株式会社  
奈良建設株式会社  
株式会社日建設計  
日産自動車株式会社  
日生商工株式会社  
株式会社野毛印刷社

パナソニック ESエンジニアリング株式会社  
パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社  
株式会社日立システムズ  
平安堂薬局  
株式会社ホテル、ニューグランド  
丸茂電機株式会社  
三沢電機株式会社  
森平舞台機構株式会社  
ヤマハサウンドシステム株式会社  
株式会社有隣堂  
株式会社豊商會  
株式会社ユニコーン  
株式会社横浜アーチスト  
横浜エレベーター株式会社  
横浜新都心センター株式会社  
横浜信用金庫

株式会社横浜ステーションビル  
永年個人賛助会員  
川村恒明  
個人賛助会員  
江田真子  
大島正博  
金子祐子  
河崎一公  
黒瀬博晴  
本田正男  
三角京子  
協賛・協力  
能舞台協賛  
ナイス株式会社  
協力  
神奈川総合設備株式会社

神奈川トヨタ自動車株式会社  
崎陽軒  
コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社  
鈴鹿かまぼこ株式会社  
株式会社東芝 首都圏南支社  
株式会社野毛印刷社  
野村證券株式会社横浜支店  
株式会社ポートサービス  
三菱地所株式会社  
(匿名:1社、2名)  
(2012年12月13日現在)

賛助会員募集のご案内 公益財団法人神奈川芸術文化財団では、賛助会員の制度を設立し、広くみなさまのお力添えをいただいております。お問合せ:公益財団法人神奈川芸術文化財団 広報営業課 ☎045-633-6520

# ひたむきに愛を求めた二人の女性 オペラのなかで生き続ける純愛がいまここに

イタリア・オペラの巨匠ジュゼッペ・ヴェルディ(1813~1901)生誕200年、20世紀を代表するイギリスの作曲家ベンジャミン・ブリテン(1913~1976)生誕100年にあたる2013年、2作曲家のオペラが県民ホールとKAATで同時期に上演されます。

ヴェルディ・オペラのなかでも人気の高い『椿姫』、そしてブリテンのオペラ「カーリュ・リヴァー」を舞踊「清元 隅田川」と組み合わせた『隅田川二題』です。

ヴェルディの『椿姫』は、デュマ・フィスの小説「椿姫」をもとに作曲され、1853年に初演されたオペラです。パリの高級娼婦ヴィオレッタと旧家の息子アルフレードとの美しくも叶わぬ恋がドラマティックに展開します。最終幕、アルフレードと別れ、病の床にあるヴィオレッタは「道を踏み外した女」(ラ・トラヴィアータ)であることの許しを神に請います。祈りが通じたのか、死を目前にしたヴィオレッタのもとにアルフレードが駆けつけ……。今をときめく二大プリマをヒロインに迎え、2012年の『タンホイザー』で名演を聴かせた沼尻竜典指揮神奈川フィルが、愛のドラマを奏でます。

『椿姫』初演から100年ほど経た1956年、日本を訪れたブリテンは能「隅田川」に心を奪われ、短い滞在中に二度この作品を鑑賞します。イギリスに戻ったブリテンは、舞台をイギリスの片田舎の川のほとりにある教会に設定し、中世の修道士たちが演じる教会オペラ「カーリュ・リヴァー」を完成させました。主人公の狂女は、さらわれた最愛の子を探し求めてさまよひ、カーリュ・リヴァーにたどり着きます。そこで息子の悲しい最期を聞くことに……。悲嘆のあまり倒れ伏す狂女に、船の渡し守は、幼い魂の安息のために祈りをすすめます。母の祈りは子どもに届くのでしょうか。

今回は「能から生まれた二つの「隅田川」>として、演出・振付に日本舞踊界の重鎮、花柳流家元・花柳壽輔を迎え、オペラ「カーリュ・リヴァー」と日本舞踊「清元 隅田川」とのカップリング上演というKAATならではのユニークな企画です。

時代と国を超えて私たちの心を打つ、二人の女のひたむきな愛。哀しい物語ですが、二人の魂は、オペラの大団円で救いを見出します。3月、愛の力を体験しに県民ホールとKAATにいらしてください。



神奈川県民ホール・びわ湖ホール・  
 東京二期会・神奈川フィルハーモニー管弦楽団・  
 京都市交響楽団共同制作公演

## ヴェルディ作曲 歌劇『椿姫』 ヴェルディ生誕200年

3月23日(土)・24日(日)各日14:00開演

神奈川県民ホール大ホール

SS15,000円 S12,000円 Sペア21,600円 A9,000円 B7,000円

C5,000円 D3,000円(売切) 学生(24歳以下)2,000円

指揮:沼尻竜典 演出:アルフォンソ・アントニオッツィ

出演(23日/24日):砂川涼子/安藤赴美子(ヴィオレッタ)

福井敬/フェルナンド・ボルターリ(アルフレード)

黒田博/上江隼人(ジェルモン) 他

合唱:びわ湖ホール声楽アンサンブル 二期会合唱団

管弦楽:神奈川フィルハーモニー管弦楽団



砂川涼子

安藤赴美子 撮影:大野純一

福井敬

フェルナンド・ボルターリ

## KAAT次世代への古典芸能プロジェクト 隅田川二題

～オペラ「カーリュ・リヴァー」/  
 日本舞踊「清元 隅田川」～

3月22日(金)19:00開演・23日(土)16:00開演

KAAT神奈川芸術劇場(ホール)

SS12,000円 S9,000円 A5,000円 B3,000円 他

ベンジャミン・ブリテン生誕100周年

オペラ「カーリュ・リヴァー」(ベンジャミン・ブリテン作曲)

演出・振付:花柳壽輔

指揮:角田鋼亮

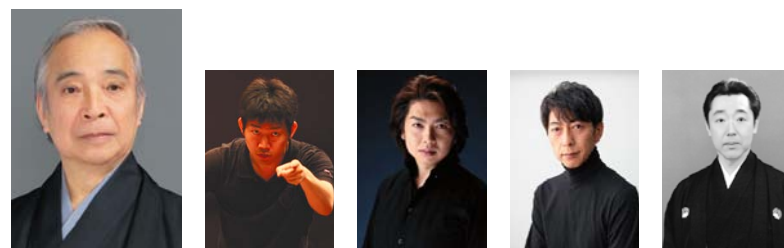
出演:鈴木准(狂女/テノール) 大久保光哉(渡守/バリトン)

井上雅人(旅人/バリトン) 浅井隆仁(修道院長/バリトン)

篠井英介(狂女/舞踊) 大沢健(渡守/舞踊) 他

日本舞踊「清元 隅田川」(作詞:糸野採菊 作曲:二世清元梅吉)

出演:花柳壽輔(班女の前) 花柳基(舟長)



花柳壽輔

角田鋼亮

鈴木准

篠井英介

花柳基

チケットの  
 お求めは

インターネットチケット予約(24時間受付)  
<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

チケットかながわ 045-662-8866 (電話10:00~18:00)

(県民ホール窓口10:00~18:00/芸術劇場窓口10:00~18:00/音楽堂窓口13:00~17:00月休)

# WHAT'S ON? 17

## 横浜・山下町周辺のアート、コンサート、イベント情報ピックアップ

### ①坂あがりスカラシップ(急な坂スタジオ・のげシャール・STスポット)対象公演



モモンガ・コンプレックス  
『ご多分にもれず、ふつう。』(2012年3月STスポット)公演から  
撮影:北川 桃

ダンス・パフォーマンス的公演 **モモンガ・コンプレックス vol.9**

『秘密も、うろ覚え。』

3月29日(金)~31日(日) 山手ゲート座(岩崎ミュージアム内)

振付・構成・演出:白神ももこ

出演:白井梨恵、北川結、眞嶋木綿、夕田智恵、白神ももこ ほか

お問合せ:☎070-6562-7469 (モモンガ・コンプレックス)

[http://d.hatena.ne.jp/momonga\\_complex/](http://d.hatena.ne.jp/momonga_complex/)

### ②TPAM in Yokohama 2013(国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2013)



2月9日(土)~17日(日)

昨年に続き、KAAT神奈川芸術劇場をはじめ、ヨコハマ創造都市センター(YCC)、

BankART Studio NYK、横浜赤レンガ倉庫1号館など、関内・山下町周辺会場で

開催される。先鋭的なダンスや演劇のショーケース、舞台芸術に携わる

プロフェッショナルのためのネットワーキング・プログラムが予定されている。

詳細は順次ホームページで発表。お問合せ:☎03-5724-4660 <http://www.tpam.or.jp/>

### ③神奈川県立音楽堂



波多野睦美

波多野睦美「朝のコンサート」

3月22日(金) 11:00開演(休憩なし1時間のコンサート)

一日の始まりに素敵なコンサートはいかがですか。心に響く「うた」の数々を、自然な語り口と心安らぐ歌声で人気の波多野睦美さんがお届けします。

予定曲目:花の街(團伊玖磨)、春の電車(小倉朗)、ムーンリバー(H.マンシーニ)、

私のお気に入り(R.ロジャース)ほか

出演:波多野睦美(メゾ・ソプラノ) 山田武彦(ピアノ)

料金:全席指定2,500円 チケット:☎045-662-8866(チケットかながわ)



## 新・森さんぽ5

森日出夫さん撮影の写真でめぐる横浜歴史散策

### 中華街

中華街の街路の向きが周囲と違っていると聞き、さっそく地図を確認してみました。左下のMAPでご覧いただけるように、中華街のところだけ基盤の目状の街路が45度ほど違う向きになっています。なぜでしょう?

中国人たちは、開港当時、料理人として、また日本人との仲介を務める買弁として、欧米諸国の商人たちに伴われて横浜にやってきました。また、西洋建築の大工やペンキ職人、活版印刷、楽器製造など、西洋の新しい技術をもった中国人も続々と横浜を訪れました。

彼らが居住地として選んだのが、外国人居住地に近い、旧横浜新田にあたる地域。現在の中華街です。

MAPをよく見ると、周辺が海岸線と平行に形成されているのに対し、中華街一帯の台形が東西南北の方位にびったり合っていることがわかります。かつては風水を重んじる中国人が、東西南北の方位が正しい形に道を造ったと言われてきましたが、近年の研究では、旧横浜新田の水路やあぜ道が、土地を造成する際にそのまま残ったのではと言われています。

監修:西川武臣(横浜開港資料館副館長)



媽祖廟



中国の旧正月、春節を祝う中華街

県内のアート情報はここで探そう!

<http://www.kanagawa-at.info/>  
「かな@」で県内のアート情報を検索できます。



かながわメンバーズ  
**Kame**  
KANAGAWA members

登録無料!メルマガ定期配信

あなたが支える。あなたが楽しむ。あなたとつくる、神奈川の芸術と文化。

## 公益財団法人 神奈川芸術文化財団 『賛助会員』募集中!

当財団では賛助会員制度を設立し、神奈川の芸術文化を支えるために 法人・個人の皆様から広くお力添えを求めています。

～個人会員:年間3万円から、法人会員:年間10万円から～

会員限定の催し物などを開催、当財団の活動への理解を深めていただいております。

詳細は<http://www.kanagawa-arts.or.jp/support/support.html>をご覧ください。

お申込み・お問合せ:広報営業課 ☎045-633-6520



2012年11月に開催された賛助会員と『マダムバタフライX』出演者による懇親会より